

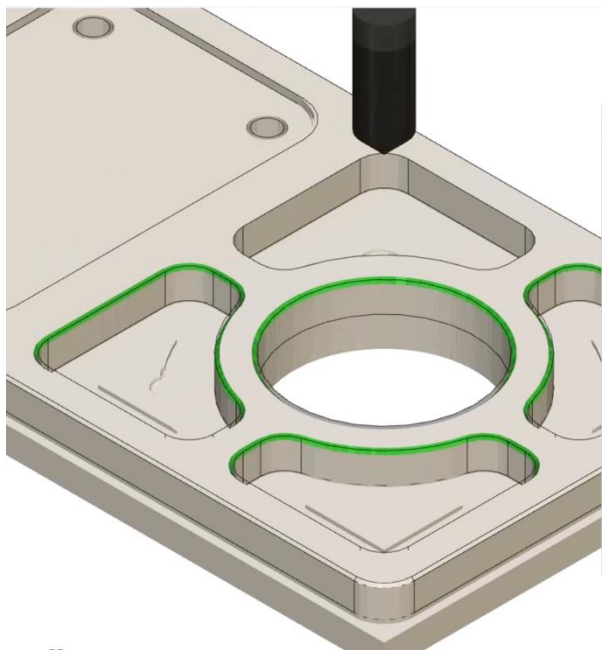
## ステップバイステップ ガイド

### 面取り操作を実行する

面取りは、コーナーのベベルを作成するために使用します。面取りは、フィーチャから金属のバリや鋭いコーナーを除去するために使用します。パーツの面取りを効果的に使用方法を学習します。

#### 学習の目的:

- モデルに対して生成された面取りを使用して、面取り操作を実行します。
- モデル生成の面取りなしで面取り操作を実行します。



完成図

1. Phone Stand Base M4.f3d  
ファイルに進みます。  
2D プルダウン メニューから  
2D 面取りを選択します。

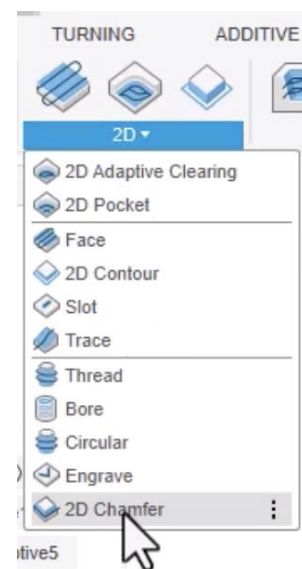


図 1. フラットを選択しました

2. 面取りツールは、指定したコーナーのベベルをパーツに配置する場合に使用します。または、ここに示すようなモデルに設計されていないフィーチャから金属のバリや鋭いコーナーを除去する場合に使用します。

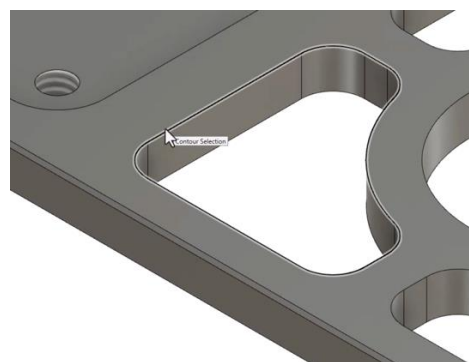


図 2. 携帯電話スタンドの設計

3. [ツールを選択]パネルで、  
[選択]をクリックします。

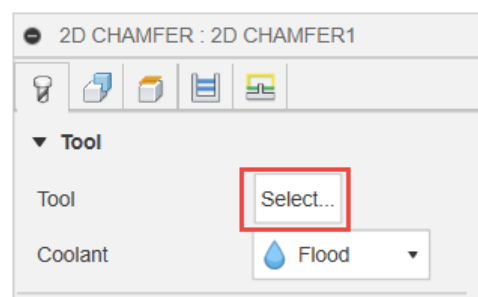


図 3. 2D 面取りダイアログで選択をクリックします。

4. 面取りするには、45度の角度付きの切削エッジまたは90度の角度を持つ工具が必要です。この操作を実行するには、10 mmのスポットドリルを選択します。

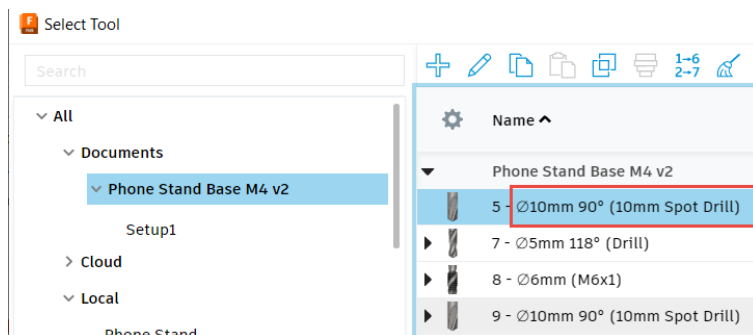


図 4. 10 mm のスポットドリルが選択されました。

5. 面取りの大きさや、工具で切削する中心線からの距離を考慮します。この工具で加工する中心線からの距離を、[面取り先端オフセット]フィールドで指定します。モデルに面取りが表示されたら、面取り幅に0を指定します。

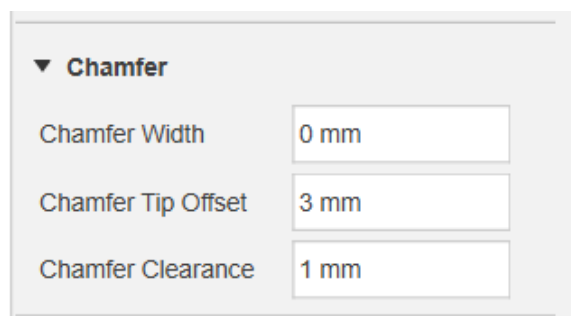


図 5. 面取りの面取り設定です。

6. [マシンを使用してシミュレート]ツールをクリックして、プロセスのシミュレーションを表示します。

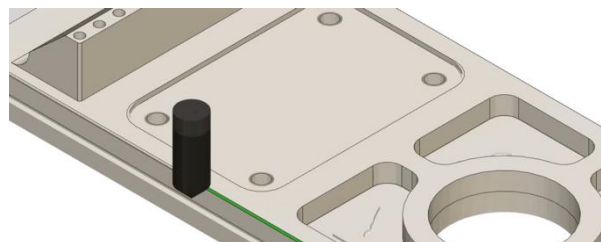


図 6. シミュレーション。

7. 電話機ホルダーの内部ポケットの場合、同じ手順を使用して面取り工具を再度使用します。ただし、今回は[面取り幅]を 0.5 mm、[面取り先端オフセット]を 1 mm に設定します。

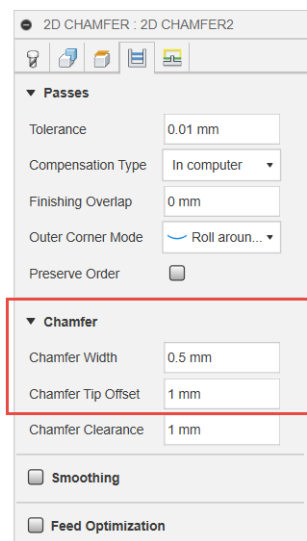
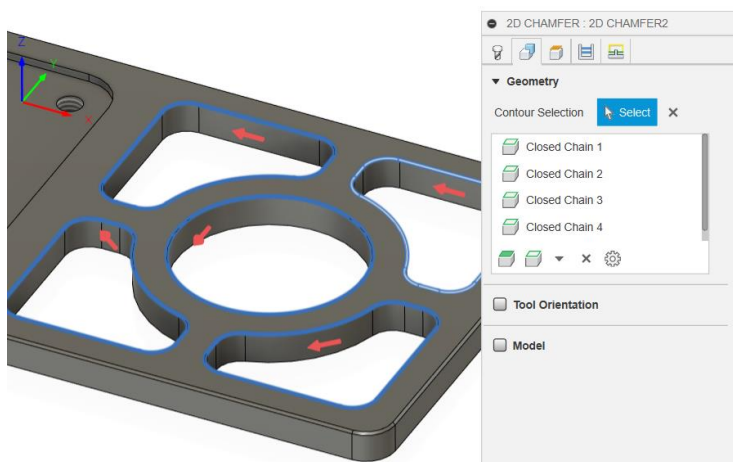


図 7. 電話ホルダーの内部ポケットの設定です。

8. [マシンを使用してシミュレート]ツールをクリックして、プロセスのシミュレーションを表示します。ファイルを保存します。

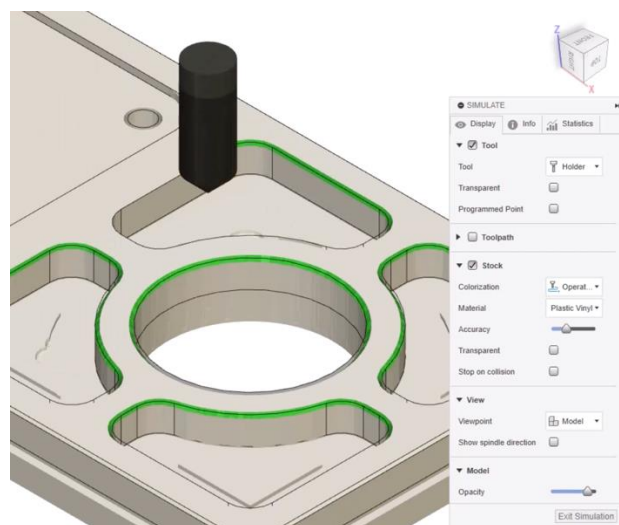


図 8. シミュレーション。